

# たまっこ通信 第1号

令和6年8月26日発行  
石川支援学校たまかわ校  
地域支援センターたまっこ



たまかわ校マスコット  
ありす&りすた

8月21日（水）に「地域の学習会」を開催しました。近隣町村の保育園、幼稚園、こども園、小学校等から、多くの先生方にご参加頂くことができました。はじめに全体会で、冰山モデルを参考に「特別な支援が必要なお子さんの見方について」の話を聞いた後、各グループに分かれて、先生方から提供して頂いた事例についての検討会を行いました。先生方からは、「ケース会議のやり方を実際にすることによって、とても参考になった。」「園内だと同じ保育教諭という視点だけになってしまうが、児童クラブの先生や小学校の先生からの意見も参考になった。」等の感想が聞かれました。暑い中、ご参加頂きありがとうございました。

## 地域の学習会の様子



★4つのグループに分かれて、各グループ2事例について話し合いをしました。  
1事例目はたまかわ校の教員が進行し、2事例目は地域から参加頂いた先生方に進行をお願いしました。



### 〈 話し合いの進め方 〉

- ① 気になるお子さんの行動を一つ取り上げる。
- ② お子さんの立場で、行動の背景や要因を考える。（付箋に書き出し、発表する。）
- ③ どんな支援ができるか具体的に考える。（付箋に書き出し、発表する。）
- ④ 支援策の中から、実践可能な支援を選ぶ。

※福島県特別支援教育センターの「小・中学校、高等学校におけるインクルーシブ教育システム推進のためのコーディネートハンドブック」のケース会議の進め方を参考に実施しました。

### 〈 今回挙げられた事例（気になる行動） 〉

※重複する事例が、いくつかありました。

- 事例1：集団参加が苦手なお子さんへの支援
- 事例2：保育室に入れられないお子さんへの支援
- 事例3：友達が嫌がることを言うお子さんへの支援
- 事例4：危ない行動を繰り返したり、注意を受けると笑みをみせて楽しんだりするお子さんへの支援
- 事例5：いすに座っていることが難しいお子さんへの支援
- 事例6：思いが通らない時にかんしゃくや他害等をするお子さんへの支援



「総評」  
特別支援教育アドバイザー  
小河原 健一 先生